

オンライン個人投資家説明会


B-EN-G（ビーエンジ）のご紹介

2022年11月28日

ビジネスエンジニアリング株式会社

証券コード：4828

# 会社概要

社名	<b>ビジネスエンジニアリング株式会社</b> Business Engineering Corporation 略称：B-EN-G（ビーエンジ）	 KDDI大手町ビル
代表者	代表取締役・取締役社長 羽田 雅一	
本社	東京都千代田区大手町 1-8-1 KDDI 大手町ビル	
業務開始	1999年4月1日	
株式公開	2014年4月 東京証券取引所市場第一部 2022年4月 東京証券取引所プライム市場	
従業員数	約1,200名（内、社員691名）【2022年4月現在】	
株式公開	IT企画、システム導入などのコンサルティングサービス、 企業向けシステムソリューションの開発・販売・サポート ERP、SCM、 IoT等の SI サービス、システム運用保守サービス、クラウドサービス	

**B-EN-Gとは**

## 「ものづくり」をITで支える企業

顧客が新しい価値を創造するための  
段階的な進化を支援



## ERP：部門別にバラバラだったシステムを 全社共通の基盤により業務を効率化

1 ERPシステム（SAPなど）の構築

2 自社開発したmcframe（エムシーフレーム）の開発・販売

### 当社の競争力の源泉

- 製造業の業務に対する深い知見
- 長年のシステム構築経験
- 自社開発の製品を有する

# 社会（消費者・コミュニティ）との関わり

## 品質、安定供給

高い品質の製品を、  
適正なコストで確実に供給するための仕組みを提供します。

## いつ納品されるか

必要な時に必要なものを必要なだけ生産する、  
ムリ・ムダのない仕組みを提供します。

## 製品の安全・安心

製品から原料や製造工程を特定することが可能な、  
トレーサビリティの仕組みを提供します。

製造業を中心としたお客様の  
デジタル化へのニーズは非常に強い

コロナ禍においてむしろデジタル化は加速

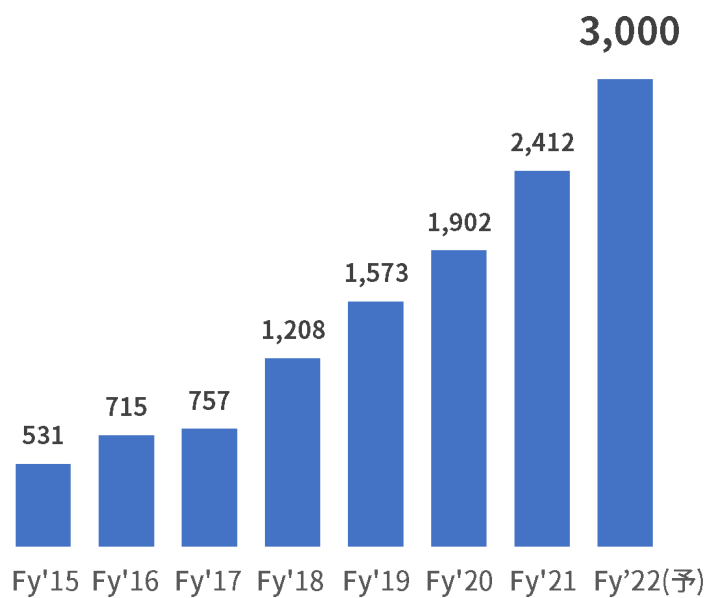
デジタル化はこれからの企業存続に必要不可欠

当社に対するお客様の期待が高まる

# 業績ハイライト

## 営業利益

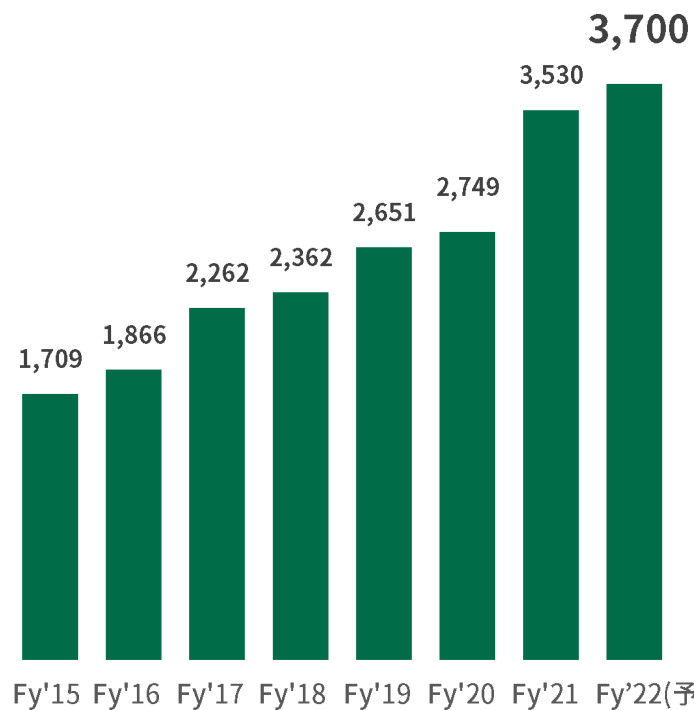
(単位：百万円)



**7期連続過去最高見込**

## ライセンス販売

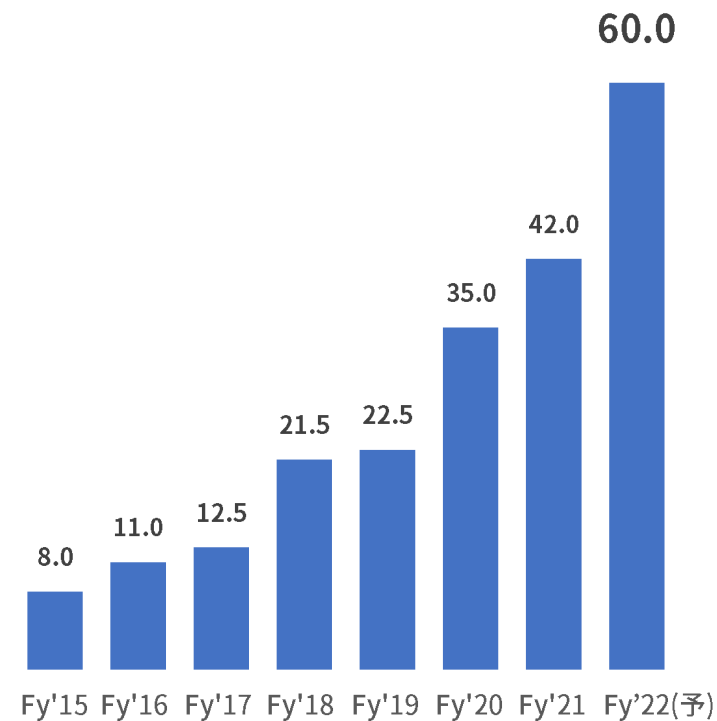
(単位：百万円)



**14期連続過去最高見込**

## 配当

(1株あたり、単位：円)



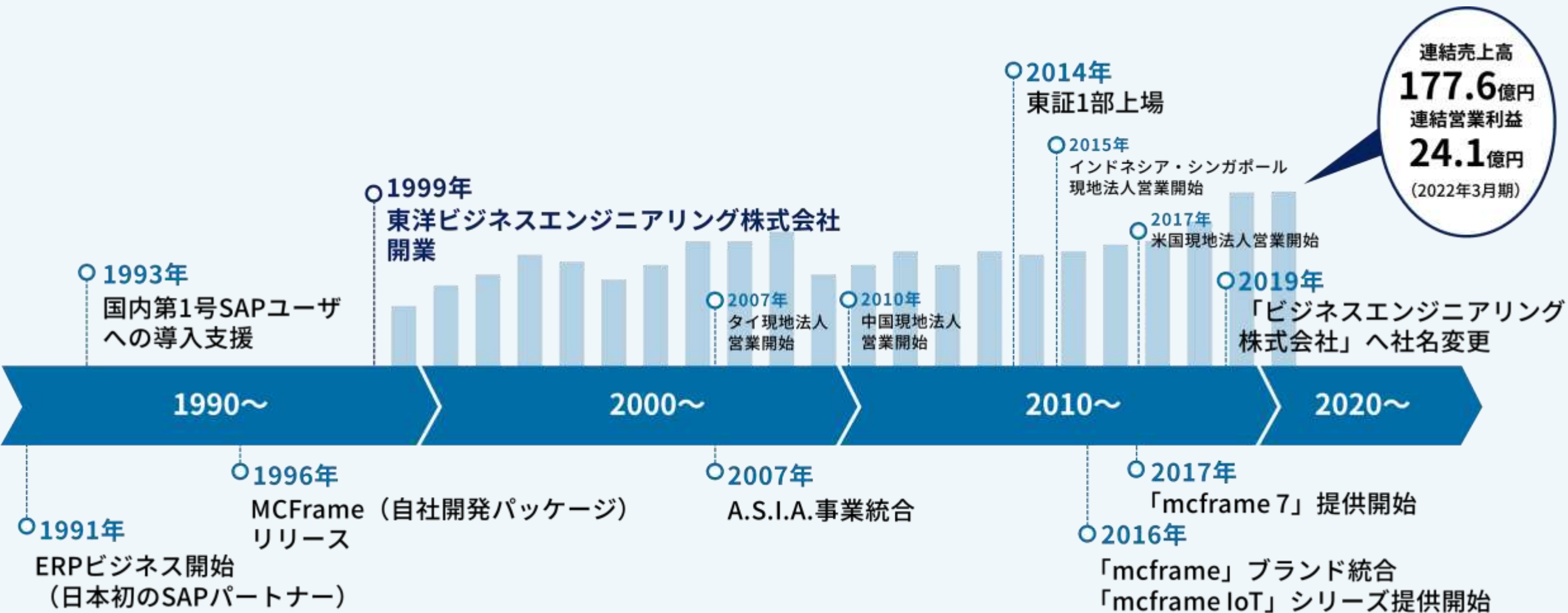
**8期連続増配予定**

※ 2021年度以前の実績は2022年6月1日付の株式分割調整後の実質金額



# 現在のB-EN-G

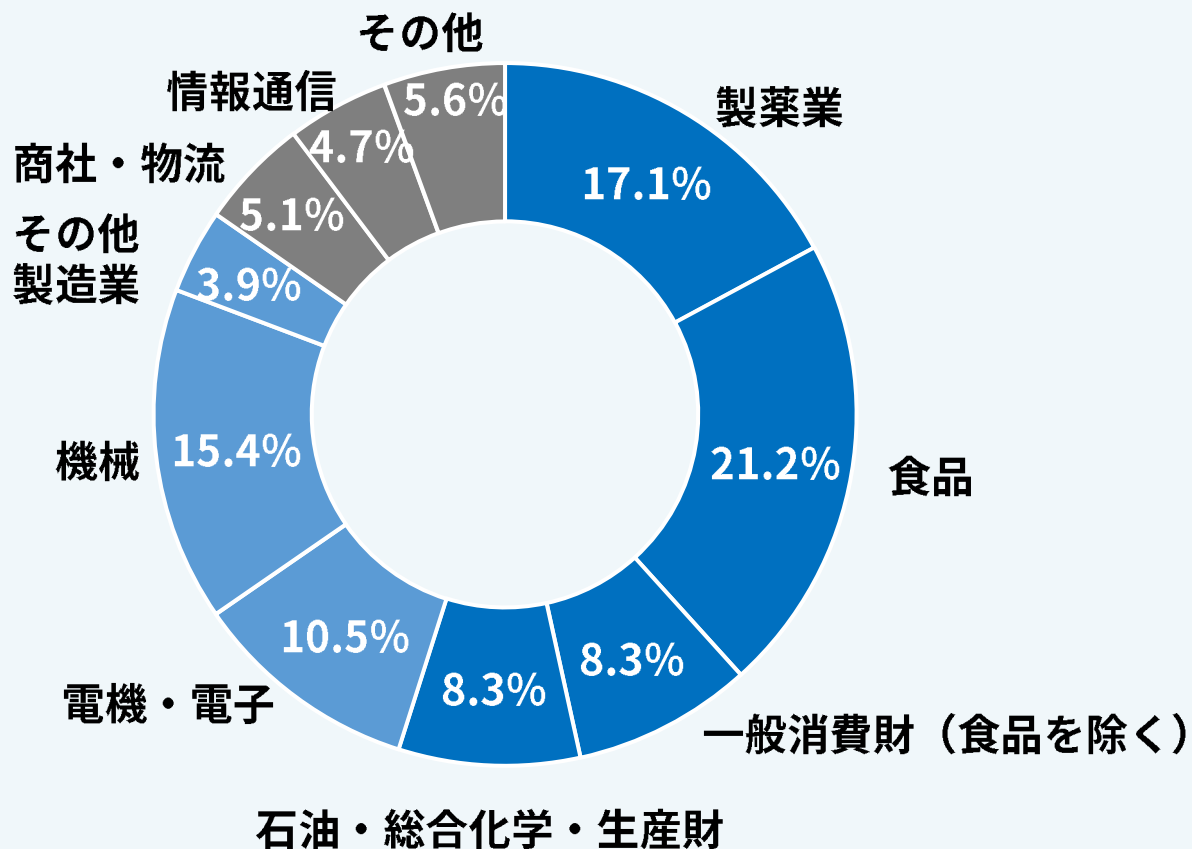
製造業に対する豊富な知見を活かし「ものづくりのためのIT」を提供。



# お客様のプロフィール

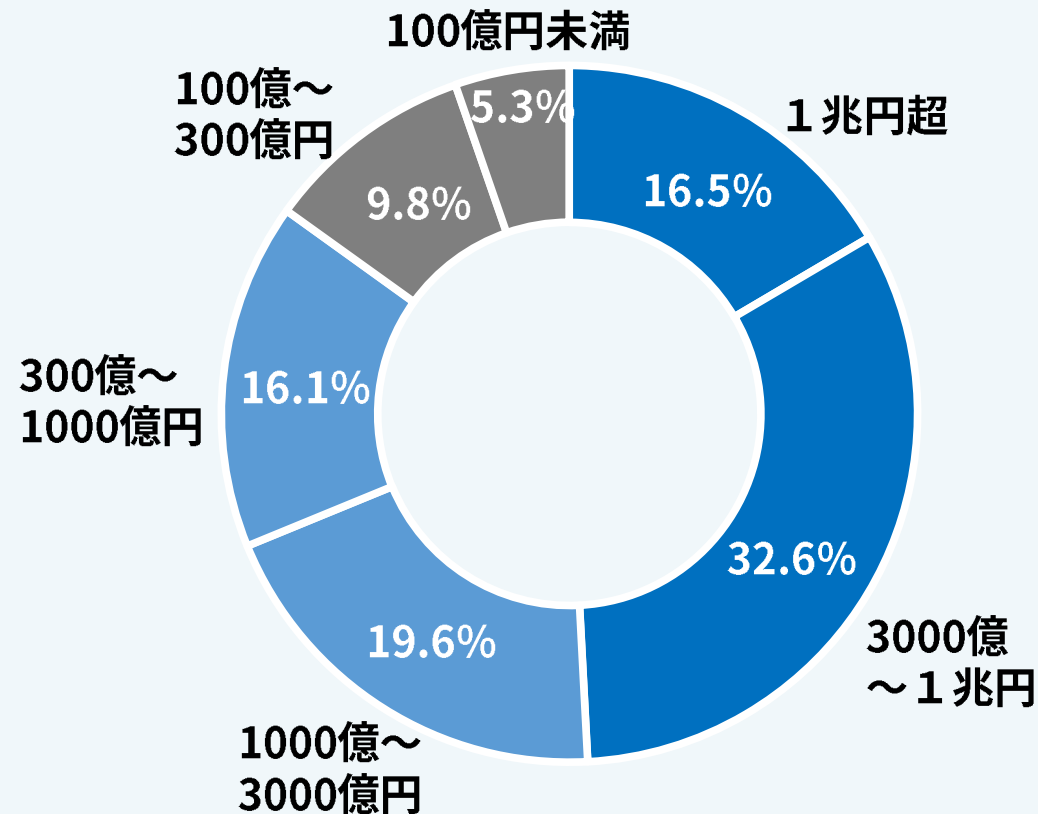
## 業種別売上構成（2019～2021年度）

製造業向け売上が約85%



## 企業規模別売上構成（2019～2021年度）

お客様は中堅～大企業まで



それぞれに特徴のある3つのセグメントで事業を展開。

## ソリューション事業

製造業に関する豊富な知識と経験に基づくシステムインテグレーション  
SAPをはじめとする他社製のパッケージ製品をベースとしたSI事業

## プロダクト事業

長年のノウハウを注いで自社開発した、高い利益率のライセンス販売  
自社開発パッケージ「mcframe」シリーズの開発・販売事業

## システムサポート 事業

導入後のシステムを活用する運用保守サービス  
導入後の運用・保守サービス

## 機能が多く複雑なERP導入をご支援

### システム導入 のご支援

- 専門的なコンサルタント、エンジニアがお客様のERP導入をご支援  
(数カ月から数年単位のプロジェクト期間)

### システム稼働後 のご支援

- システム活用度の向上
- 他拠点（海外含む）展開・他業務への利用拡大

当社の強みを活かし業績向上へ

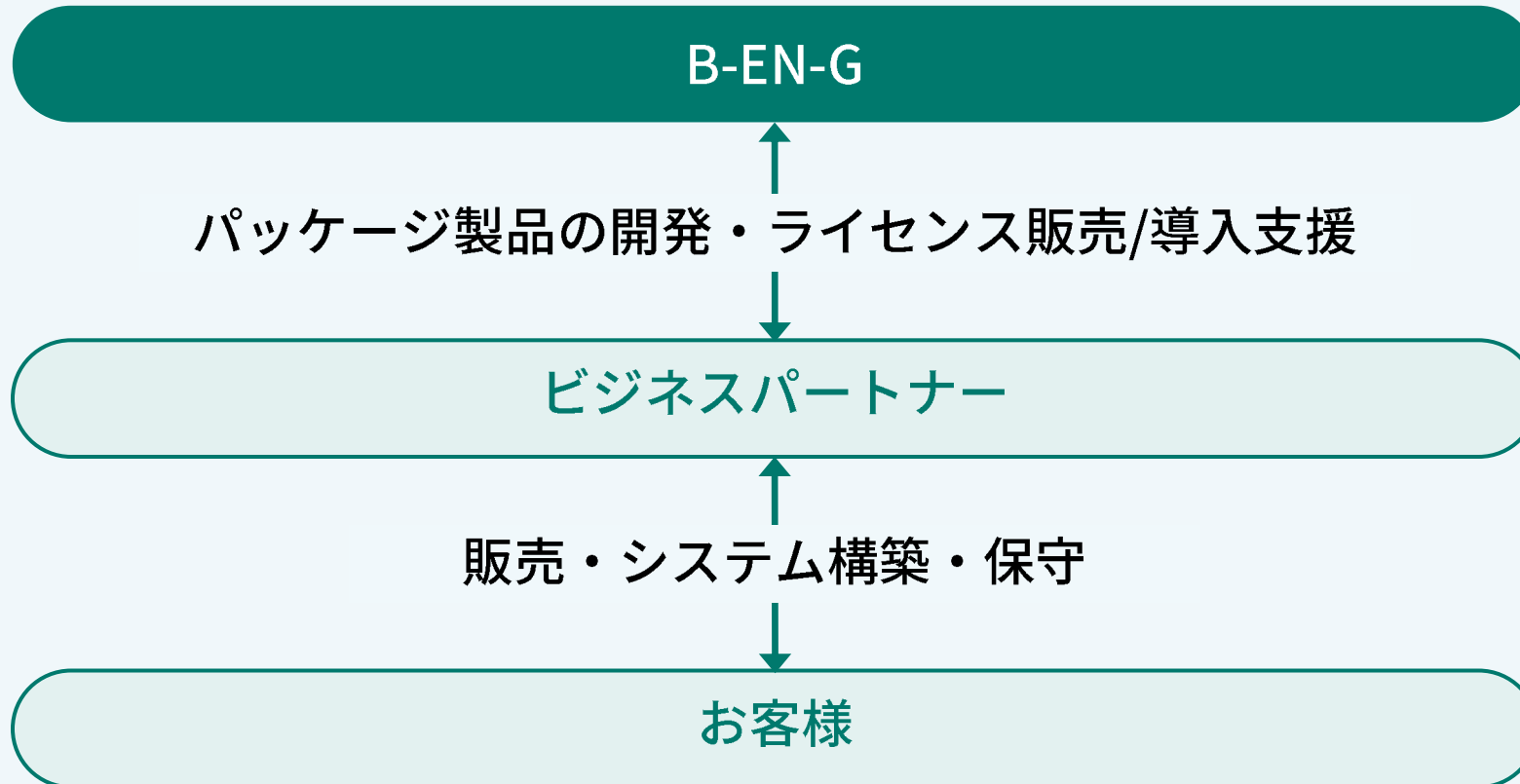
# ソリューション事業 | システム対象範囲

ERP・基幹系システムを中心に、周辺製品との組み合わせによる課題解決型ビジネスを推進。「ものづくりのDX」を実現する。



# プロダクト事業 | mcframeビジネスについて

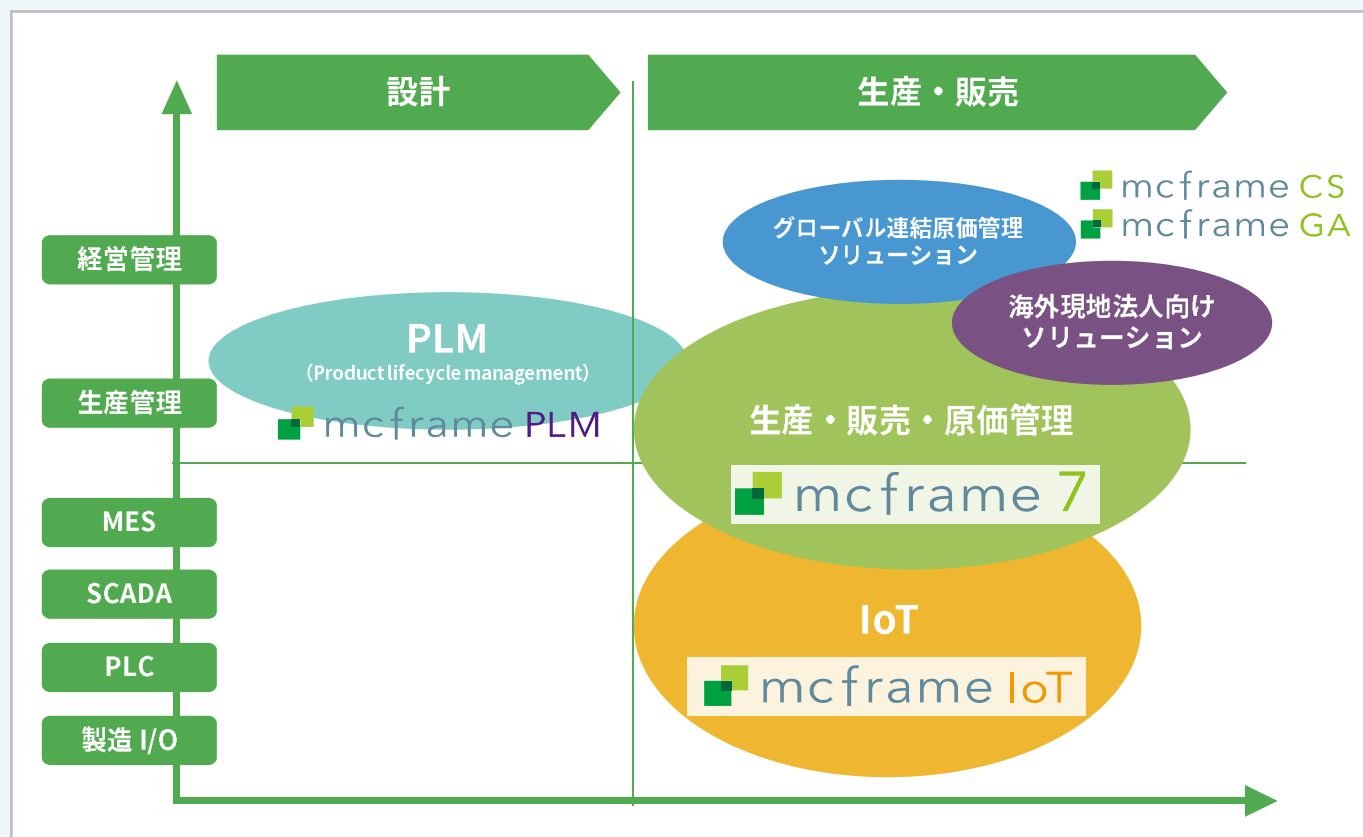
多くの国内製造業に採用されているmcframe



高い収益性のライセンスビジネス

# プロダクト事業 | mcframeの対象範囲

製造業向けソリューション「mcframe」を中心に、  
エンジニアリングチェーン・サプライチェーンを統合する  
「ものづくりデジタライゼーション」を実現。





## 数多くの有力ITサービス企業様を通じて提供

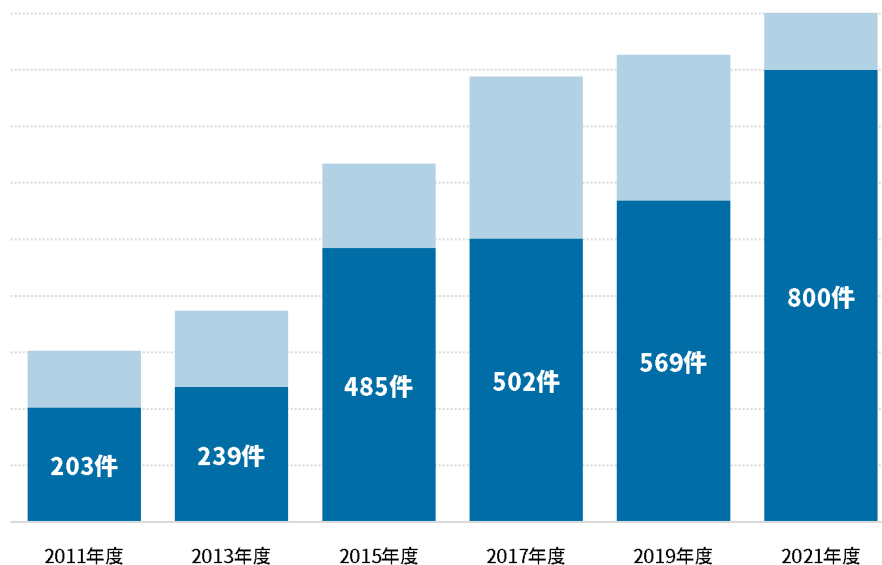
- インテック
- NRIシステムテクノ
- SCSK
- キッセイコムテック
- キヤノンITソリューションズ
- コベルコシステム
- サンテック
- サンネット
- ティービーケー・システムズ
- テクノシステム
- テクノスジャパン
- テクノプロジェクト
- デュプロ販売
- 電算
- 電算システム
- 東海ソフト
- 東芝デジタルソリューションズ
- 豊田自動織機ITソリューションズ
- 日鉄ソリューションズ
- 日本SI研究所
- 日本コンピュータシステム
- ネクステップ・ソリューションズ
- パーソナル情報システム
- ビジネスブレイン太田昭和
- 日立ソリューションズ
- BIPROGY
- 富士通
- ブレイン
- 三谷産業
- 三菱電機ITソリューションズ
- 横河ソリューションサービス
- レイヤーズ・コンサルティング
- ロジーワイズ
- YE DIGITAL Kyushu
- ワイ・ディ・シー

※ 50音順、2022年11月現在 ※ GA・IoTだけを取り扱うパートナーは除く

## mcframe導入企業間のコミュニティ

### 製品要望の提示と反映

#### ■ 要望取込件数



### mcframeユーザ総会

- 活動報告や新年度の活動計画の承認など
- 全国からmcframeユーザの会員が参加、交流

### 活動イベント

- 研究会
- 地域分科会
- 海外ユーザ会
- 工場見学会
- テーマ別のセミナー・ワークショップ



# プロダクト事業 | 海外での導入実績

mcframeシリーズ グローバル導入社数  
1,500社を突破



mcframe GA



GLASIAOUS



mcframe CS

日系企業のグローバル展開をITで支えるビジネスを推進

## 数多くの有力ITサービス企業様を通じて提供



### 中国

- B-EN-G上海
- INTEC上海
- TBK無錫/上海
- 浩成瀋陽
- 傑代重慶
- NCD天津

### タイ

- B-EN-G Thailand
- Material Automation
- Thai NS Solutions
- JAST Asia Pacific

### インドネシア

- B-EN-G Indonesia
- D'Rose

### シンガポール

- B-EN-G Singapore
- NRI APAC
- YOKOGAWA Engineering Asia
- AG Net

### フィリピン

- N-PAX(資本参加)

### ベトナム

- Aureole Information Technology

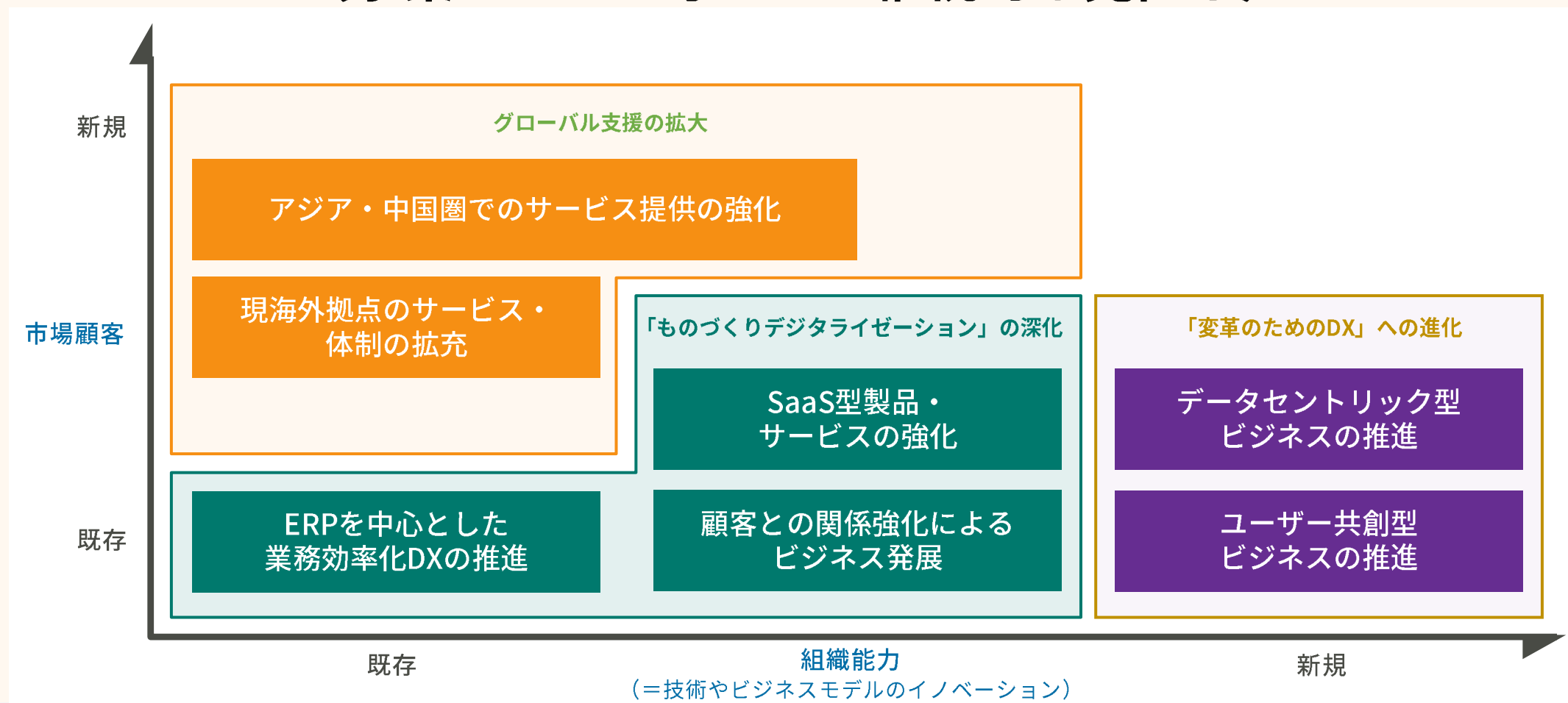
### 北米

- B-EN-G America
- Calsoft Systems
- All World Machinery
- JBS (米国、メキシコ)

# これからのB-EN-G (経営Vision 2026の進捗)

# B-EN-Gのビジネス領域（事業ポートフォリオ）の進化

既存ビジネスから新しい領域へと継続的に進化し、次の成長を目指す。  
（事業ポートフォリオの継続的な見直し）





# 3つの柱 | ① 「ものづくりデジタルイゼーション」の深化

製造業の業務効率化を推進し、  
「変革のためのDX」に転じるためのIT基盤づくりを支援する。

## 業務効率化DXの 推進

「変革のためのDX」に転じるためのIT基盤づくりを支援

自社開発製品 mcframeライセンス売上高：前年度比28%増

## SaaS型製品・ サービスの強化

顧客の利便性に合わせて、所有型・利用型を選べる製品・サービスを提供

自社開発クラウド型サービス（GLASIAOUS）：導入社数累計500社突破

## お客様との 継続的なビジネスの構築

お客様との継続的な関係から、次のビジネスへと発展させるサイクル作り

カスタマーサクセス専任部門の新設



## 「製造業特化型ビジネスプラットフォーム」への進化を目指す — mcframe SaaS対応版 —



mcframe  
SaaS

企業規模・システム導入のパターンに応じて、  
既存のモデルとの組み合わせで柔軟な導入が可能

mcframe GA（グローバル会計）との組み合わせで、  
よりスピーディなグローバル経営を実現

mcframeのファミリー製品との連携により、  
利便性の高い総合的なサービスを提供

ものづくりのための国産パッケージとして**市場に新たなポジション**を確立する





## 3つの柱 | ② 「変革のためのDX」 への進化

製造業のビジネスモデル変革や革新的なサービスの開発を支援すると共に、  
新しい形のビジネス創出により自社のビジネス変革を図る。

### データセントリック型 ビジネスの推進

システムから得られるデータを活用し、価値を最大化するビジネスの推進

データ活用ソリューションビジネス：新規受注  
(データ活用基盤整備／販売計画予測／基幹システムとデータ解析基盤の連携等)

### ユーザー共創型 ビジネスの推進

ユーザーとの新しい共創関係により、新しい価値を創出するビジネスの推進

川口スプリング社との共創ビジネスモデル  
(お客様の製品に当社IoTソリューションを組み込み)

経産省の定める「DX認定事業者」に選定



日系製造業のグローバル展開支援を継続的に強化し、  
製造業の**グローバルSCMの発展**を支援する。

現海外拠点の  
サービス・体制の拡充

現海外拠点および海外パートナーの体制拡充

海外現地法人：コロナ禍の状況の下、業績は概ね堅調に推移

中国・アジア圏での  
サービス提供の強化

アジア・中国圏を中心に日系製造業のグローバル展開支援を強化

# 社会的課題解決への取り組みと当社の事業

製造業を中心とした顧客への価値提供を通じて、  
社会的な課題の解決を目指しサステナビリティを実現する。

## 「ものづくりデジタルイゼーション」の深化



- 食品・医療分野を中心とした生産管理による製品ロスの低減と安定供給
- 製品原価の管理による資源利用の最適化
- デジタル化による紙の削減等、環境資源への負荷低減
- 製造プロセスの最適化による、脱炭素化実現への貢献

## 自社製品のカーボンニュートラル対応（新機能の追加）

## 「変革のためのDX」への進化



- 製造業のビジネス変革の支援を通じて、国内外産業の継続的な発展を支援
- 新しい技術を活用した製品・サービスの創出とイノベーションの推進
- 国内外のユーザー企業や団体とのパートナーシップによる新しい価値の創出

## グローバル支援の拡大

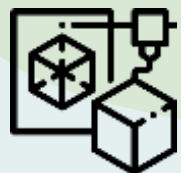


- 海外における産業の発展支援と現地雇用の創出
- 海外人材の技術スキル向上支援
- 強靱且つ柔軟性のあるグローバルサプライチェーンの構築による製品の安定供給



## 製造業のサステナビリティを「支える」製品・サービスを提供 — mcframeの環境ソリューション —

### mcframe PLM



製品企画・設計段階で  
製品別の炭素量を把握

### mcframe 7



### mcframe 7 PCM

mcframeの原価計算機能を  
応用した環境負荷計算のしくみ



### mcframe IoT



環境関連データの  
実測とモニタリング

### mcframe COCKPIT

環境負荷を可視化し、  
分析・評価を行う



ものづくりのためのmcframeだからこそ提供できる、  
ものづくりのための環境ソリューション

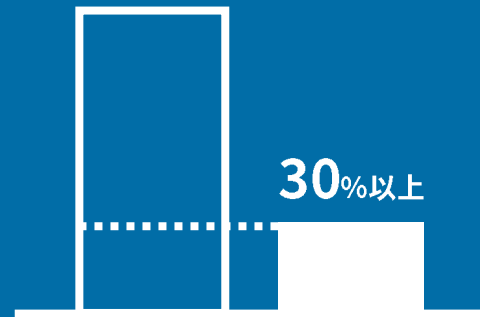
# 経営Vision 2026 達成目標

(連結)	2020年度実績	2022年度予想	2026年度目標
売上高	177 億円	179 億円	220 億円
営業利益	19.0 億円	30.0 億円	32.0 億円
当期純利益	12.8 億円	21.0 億円	21.1 億円

# 株主還元



株主還元は  
主に配当金で実施

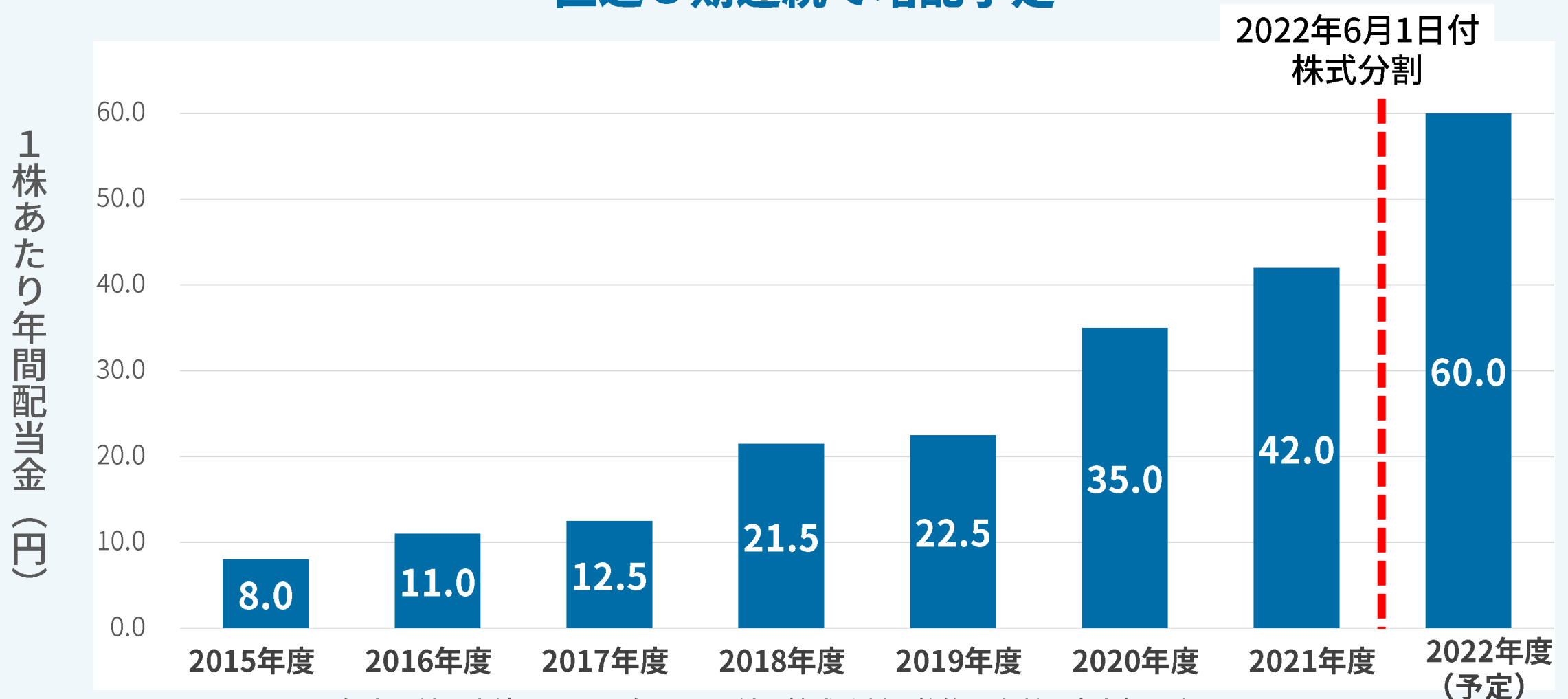


安定配当 & 中長期的な  
配当性向30%以上



配当回数は年2回  
中間配当 (3月末)  
期末配当 (9月末)

## 直近 8 期連続で増配予定



※ 2021年度以前の実績は、2022年6月1日付の株式分割調整後の実質配当金額を表しています。



# 株主優待

ビジネスエンジニアリング株式会社

証券コード: 4828

# b-en-g

## 株主通信 第44期

第1四半期 / 2022年4月1日~2022年6月30日

株主の皆様へ

株主の皆様には平素より特別のご支援とご賞配を賜り、  
誠にありがたく厚く御礼申し上げます。

ここに、当社グループ第44期第1四半期の「株主通信」をお届けし、  
当期の状況についてご説明申し上げます。

2022年9月

# 年4回の 株主優待

QUOカード 500円券 × 年4回

b-en-g ビジネスエンジニアリング株式会社





# b-en-g

<注意事項>

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。